

校長通信

第4号 2019. 6. 26

G20大阪が開催！興味ありますか？

【1】はじめに

6月28日・29日と大阪でG20が開催されます。27日・28日と大阪府立高校がすべて休校になるという、府民に大きな影響をもたらす会合です。マスコミでも盛んにG20に関する報道がなされています。大阪目線での報道では、「大阪を世界に売り込む機会に！」という論調が多くみられますが、果たしてそれでいいのでしょうか？学校も休校になるこの二日間。少しだけG20に注目してみませんか？という事で、今回は、G20を話題に取り上げてみたいと思います。

【2】そもそも・・・G20ってナニ？

そこで、まずは原点に戻って「そもそも、G20ってナニ？」という話からです。G20とは、“Group of Twenty”の略で、以下の20か国のグループを意味します。

アメリカ、イギリス、フランス、ドイツ、日本、イタリア、カナダ、EU、ロシア、中国、インド、ブラジル、メキシコ、南アフリカ、オーストラリア、韓国、インドネシア、サウジアラビア、トルコ、アルゼンチン

ウィキペディアによると、この20か国で、世界のGDPを90%、貿易額の80%を占め、世界の人口の2/3になると記しています。まさに、世界を動かしている20か国という事ですね。

なぜ、20か国が集まるようになったか？もともとは、G7、主要国首脳会議がスタートです。つまり、アメリカ、イギリス、フランス、ドイツ、日本、イタリア、カナダ、にEUが加わって会議を行っていました。しかし、これにロシアが加わり、新興国11か国（中国・インド・ブラジル・メキシコ・南アフリカ・オーストラリア・韓国・インドネシア・サウジアラビア・トルコ・アルゼンチン）が加わり、1999年より20か国・地域財務大臣・中央銀行総裁会議が開催されるようになったのです。

ところが、2008年から20か国・地域首脳会合（G20 Summit）が開催されるようになります。なぜかわかりますか？2008年、今から11年前。君たちがまだ小学生になるかならないかの時に、大きな事件が世界を襲ったのです。それが「リーマンショック」と言われるものです。この世界金融危機にどう対処するかという事で、G20が開始されました。これが、そもそもの始まりです。

【3】G20は大阪開催だけではない？！

ニュースや新聞をみていると、日本各地でG20がらみの国際会議が開かれています。例えば、5月11日—12日には、新潟市で農業大臣会合が開催され、6月8日—9日には、貿易・経済大臣会合が茨城県つくば市、財務大臣・中央銀行総裁会議が福岡市で、6月15日—16日は、軽井沢で環境・エネルギー関係大臣会合が開催されました。また、G20大阪会議が終了してからも、労働大臣会合が、9月1日—2日に松山市で、外務大臣会合が11月22日—23日に名古屋市で開催されます。このほかにも、

観光大臣会合（10月25～26日） 北海道倶知安町

保健大臣会合（10月19～20日） 岡山県岡山市

が、開催されます。

すでに行われた会合の中で、私が注目したのは、6月15日—16日に実施された環境・エネルギー関係大臣の会合です。

【4】身近な問題—廃プラ問題—

この環境・エネルギー関係大臣会合で話し合われたのが、今世界中で社会問題化している「廃プラ問題」です。次の写真や映像を見た人もいないのではないですか？



この写真は、海に流されたストローがウミガメに刺さり、それを抜いている写真です。鼻から血を流し、非常に痛々しい写真です。

すさまじい量の廃プラスチックが海洋汚染を深刻化させています。1950年以降に生産されたプラスチックは83億トンを超え、そのうち63億トンがごみとして廃棄されています。リサイクル率は、わずか9%。回収された79%のプラスチックが埋め立て、海洋に投棄されていると言われてい

ます。この「廃プラ問題」について、初めて廃プラの削減に向けて国際的な枠組みの創設に合意したというのが、今回のG20環境・エネルギー関係大臣会合なのです。

この廃プラ問題は、私たちの日常生活の問題です。スーパーやコンビニのレジ袋の問題や、ペットボトルの問題です。どれだけ、リサイクルされるかが問われています。国際会議と私たちの日常生活、とてもかけ離れた問題と思われていますが、そうではなくとても近い問題だと言えます。

【5】社会に目を向けよう！

6月6日と13日に開催された「〇高生の主張」や3年生で取り組む「課題探究」でも、こんな社会問題を提起してほしいと思います。廃プラ問題のように自分の身の回りを見てみると、実はとてつもなく大きな社会問題につながっているという事は、たくさんあるのではないのでしょうか？例えば、今話題になっているコンビニの24時間営業の問題。便利さを追求するあまり、その背景で厳しい労働を強いられている人がいるという事です。「本当にコンビニの24時間営業は必要か？」などという事を課題研究にして、フィールドワーク調査をするのは、とても興味深いです。大学の社会学部や経済学部の卒論のテーマにもなりますし、研究者の研究テーマにもなるでしょう。

コンビニのことを話題に取り上げましたので、もう一つコンビニに関する話題。それは「食品ロス」の問題です。コンビニ大手三社が「食品ロス」に持続可能性の高い取り組みを開始しましたね。ニュースを見ていて、「オッ！コンビニもやるね！」と思いました。ローソンの社長が、この「食品ロス」問題で記者会見しているニュースを見て気づいたのですが、彼がスーツに付けているバッジに注目です。上のバッジがおそらくローソンの会社のバッジでしょう。注目してほしいのは、その下に付けている円形のバッジです。



このバッジをご存知ですか？私も3月からスーツに付けているので、生徒のみなさんも目にしたことがあると思

うのですが・・・。△△会の方やPTAの方からも、「校長先生、そのバッジは何のバッジですか？」と聞かれることがあり、「あんまりメジャーじゃないんだな・・・」と思うのですが、電車に乗っていたり、街を歩いていると、同じバッジをつけている人に時々出会いますよ。すれ違う時に、お互いにバッジに注目したりして、なんかそれだけで仲間意識ができたります。「あんたも、つけているのか！」なんて思うのです。そう、これは、

SDGs

の国連バッジなのです。今、日本では、このSDGsへの取り組みが盛んになっています。そこで、最後にSDGsについて紹介していきましょう。

【6】SDGsってナニ？

SDGsとは、「Sustainable Development Goals」の略語です。日本語に訳すと、「持続可能な開発目標」となります。SDGsは2015年9月の国連サミットで採択されたもので、国連加盟193か国が2016年～2030年の15年間で達成するために掲げた目標です。



左の写真は、国連で採択されたときに、その採択を祝って、国連の壁に映し出されたプロジェクションマッピングです。

SDGsは、17の大きな目標と、それらを達成するための具体的な169のターゲットで構成されています。その17の目標を表した色が、先ほどのバッジに使われている17色なのです。17の目標にどんなものがあるか、少し見てみましょう。この画像は、このSDGsに積極的に取り組んでいるイマココラボのwebpageからいただきました。

例えば、1～6には、次のような

目標が掲げられています。

<p>1 貧困をなくそう</p> <p>1. 貧困をなくそう あらゆる場所で、あらゆる形態の貧困に終止符を打つ</p>	<p>4 質の高い教育をみんなに</p> <p>4. 質の高い教育をみんなに すべての人に包摂的(※)かつ公平で質の高い教育を提供し、生涯学習の機会を促進する</p>
<p>2 飢餓をゼロに</p> <p>2. 飢餓をゼロに 飢餓に終止符を打ち、食料の安定確保と栄養状態の改善を達成するとともに、持続可能な農業を推進する</p>	<p>5 ジェンダー平等を実現しよう</p> <p>5. ジェンダー平等を実現しよう ジェンダーの平等を達成し、すべての女性と女児のエンパワメントを図る</p>
<p>3 すべての人に健康と福祉を</p> <p>3. すべての人に健康と福祉を あらゆる年齢のすべての人の健康的な生活を確保し、福祉を推進する</p>	<p>6 安全な水とトイレを世界中に</p> <p>6. 安全な水とトイレを世界中に すべての人に水と衛生へのアクセスと持続可能な管理を確保する</p>

このテーマには、「貧困、飢餓、健康と福祉、ジェンダー、水問題」などが取り上げられ、一見して開発途上国の問題とってしまいます。私たちとの関係は、薄そうに見えてしまいますね。

<p>7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに</p> <p>7. エネルギーをみんなにそしてクリーンに すべての人々に手ごろで信頼でき、持続可能かつ近代的なエネルギーへのアクセスを確保する</p>	<p>10 人や国の不平等をなくそう</p> <p>10. 人や国の不平等をなくそう 国内および国家間の格差を是正する</p>
<p>8 働きがいも経済成長も</p> <p>8. 働きがいも経済成長も すべての人々のための持続的、包摂的かつ持続可能な経済成長、生産的な完全雇用およびディーセント・ワーク(働きがいのある人間らしい仕事)を推進する</p>	<p>11 住み続けられるまちづくりを</p> <p>11. 住み続けられるまちづくりを 都市と人間の居住地を包摂的、安全、強靭かつ持続可能にする</p>
<p>9 産業と技術革新の基盤をつくろう</p> <p>9. 産業と技術革新の基盤をつくろう 強靭なインフラを整備し、包摂的で持続可能な産業化を推進するとともに、技術革新の拡大を図る</p>	<p>12 つくる責任 つかう責任</p> <p>12. つくる責任 つかう責任 持続可能な消費と生産のパターンを確保する</p>

ところが、7～12をしてみると、エネルギー問題、働きがい、技術革新、都市問題です。こうなると、開発途上国の問題だけではありません。先進国の問題でもあります。

さらに13～17をしてみると、気候変動の問題や海洋問題、環境問題が取り上げられています。先ほど紹介した「廃プラ」問題も含まれてきますね。それに、平和の問題、世界各国の連携の問題です。ここまできると、開発途上国だ、先進国だ、などというのはナンセンスで、世界中の国々の問題と言えるでしょう。



このSDGsは、世界のすべての国・地域が合意して2030年を目標にしたというところにとっても意義があると思っています。今度のG20大阪では、アメリカのトランプ大統領と中国の習近平氏が対談することが話題になっています。どちらの国も、「自国ファースト」を掲げ、「米中貿易戦争」を繰り広げています。ヨーロッパでは、EUへの懐疑派が勢力を伸ばし、移民排斥の動きが強まっています。今、世界の動きは、「私」中心になっているような気がするのですが、皆さんはどう思いますか？

そんな中で、世界中の国が合意したSDGsという動きに、私は今後の世界の希望を見出しているのです。大げさな言い方ですが、本当にそう思っています。日本では、政府も、企業も、NGOやNPOも積極的にSDGsに取り組んでいます。この動きが、今の自国中心主義に歯止めを掛けてくれればと思っています。

SDGsは、どのような理念で提唱されたのでしょうか？2015年に国連で採択された時の理念が、これです。

「誰一人取り残さない」持続可能で多様性と包摂性のある社会

そのもとの、次の5つの特徴を持っています（外務省 webpage より）。

- 普遍性** 先進国を含め、**全ての国が行動**
- 包摂性** 人間の安全保障の理念を反映し「**誰一人取り残さない**」
- 参画型** **全てのステークホルダーが役割を**
- 統合性** 社会・経済・環境に**統合的に取り組む**
- 透明性** **定期的にフォローアップ**

私は、このSDGsの取り組みを体験できる「SDGsカードゲーム」のワークショップに昨年の12月に参加しました。12月の年末の夜7時開催という時間にも関わらず、会社関係者、学校関係者が参加し、播州方面から高校生も参加していました。

参加して思ったことは、左の図にもあるように、「統合性」が重要であるという事です。社会・経済・環境という3つの分野について、どれか一つだけ突出した成果を上げたり、どれか一つだけが極端に不十分でもダメだという事です。カードゲームのゴールは、この3つの分野がバランスよく

発展していくように、参加者全員で協議をしていくという体験です。なかなか興味深いカードゲームです。私は、初めての体験でしたので、参加はしていたものの気持ちの半分は、傍観者のようでした。カードのやり取りが進むにつれて、チーム（二人一組）間で交渉が始まります。つまり、2国間協議です。それでも解決しないので、私のテーブルの周りに参加者全員が集まって、この「社会・経済・環境」をバランスよく発展させるには、どのような取り組み（ゲーム上は、カードのやり取り）をしたらよいかの協議が始まります。これは、実際の国際政治では、サミットですね。それぞれが意見を述べ合い、最善の策（実際の国際政治では、政策や条約になると思っています）を合意していきます。「持続可能性」を追求したSDGsならではの体験です。

【7】最後に

その後、SDGsの理念とその大切さに魅かれて、朝日新聞が企画したSDGsの取組に参加したり、学校現場にSDGsを取り入れている実践を勉強するようになりました。〇〇高校でも「ワールドスタディーズ」という選択授業で、SDGsについて勉強していると聞いています。SDGsが唱える17の目標と169のターゲットの実現に向けて、〇〇高校でも何ができるか、皆さんに考えてほしいと思っています。

朝日新聞の企画で出会ったのが、SHIHOさんという音楽活動家で、彼女は大阪在住の人です。彼女は、東日本大震災でのボランティア活動をやりながら、「ケニアの女子生徒に布ナプキンを送る」という取り組みをしています。彼女とメールでやり取りをしていると、「都合がつけば、〇〇高校まで行きますよ！」と気軽に言ってくれました。一度、彼女の取り組みを聞いてみませんか？名古屋の高校生が、この取り組みに参加して、自分が作った布ナプキンをもって写真に写っているケニアの女子高生を見て、「今まで体験したことのない、鳥肌が立つような感じだった」と言っていたことが、強烈に私の頭に残っています。

SDGsについては、まだまだ知ってほしいことがあるので、校長通信で情報提供したいと思います。今回は、ここまでです！